

圏央道 地域

車でラクラク周遊 多彩なビュースポットもすぐそこ

暮らしやすさの特長とヒミツ

千葉県の東部・西部を圏央道が結ぶ広い地域で、17市町村が含まれます。東西の交流が進み、暮らしやすさがアップ！電車を使い千葉市や都内への通勤・通学も、東京湾アクアラインを利用して京浜地域への車通勤も可能です。  
海や里山、森など地域の色を生かしたレジャー・ビュースポットも多く、車があればさらにラクに暮らしを彩ることができます。稲作、園芸、酪農も盛んで、新鮮食材も手に入ります。のびのび楽しく暮らせるから、アクティブな家族にもぴったりです。



爽やかな風を感じながら  
海の上を走る！  
「ちばアクアラインマラソン」

東京駅への高速バスアクセス  
木更津駅から(アクアライン利用) 約1時間



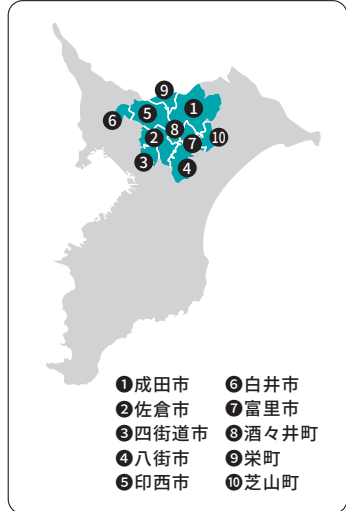
空港 地域

風情ある城下町も世界の入口もすぐそこ

暮らしやすさの特長とヒミツ

全10市町で、成田空港と千葉ニュータウンを擁する空港地域。世界への玄関口でもあり、東京へのアクセスもいんです。成田空港はLCCのネットワークが拡充。国内外からの観光客が多く、まちを歩くインターナショナルな雰囲気も。成田市や印西市を中心に、大型ショッピングスポットも増えて活気があります。  
一方で、かつての城下町のまち並みも残り、伝統文化を大切にしながら、ゆったりした時間が流れるのも魅力。田園風景に癒され、畑にはオシロイものがたくさん実っています。アートのスポットにも恵まれた、感性が育まれる地域です。

年間1000万人以上の  
観光客が訪れる！  
「成田山新勝寺」



東葛・湾岸 地域

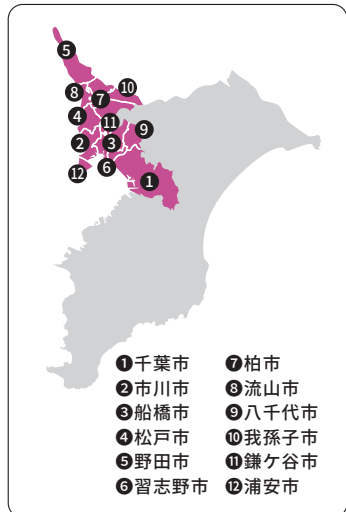
東京もショッピングモールもやすらぐ自然もすぐそこ

暮らしやすさの特長とヒミツ

県北西部に位置する「東葛」と、幕張新都心とその周辺の「湾岸」が一緒になった地域は、全12市。首都・東京に近接し、都内へ通勤・通学する人も多く、そのアクセスはとっても便利！  
東京とのつながりが強い地域ですが、地域にはショッピング・遊びスポット、病院なども充実し、暮らしは快適。都会なのに、空が広くて、広大な農地も市場もあるんです。この絶妙なバランスが過ごしやすい地域です。



つくばエクスプレスを  
使えば  
秋葉原駅まで  
約30分！



暮らしの“気になる”をチェック！

南房総地域

〈住環境・仕事〉

テレビの旅・観光番組などで頻繁に登場する南房総地域。気候・風土を生かしたまちづくりが特徴で、医療・介護分野に注力しています。  
また、農業・水産業をはじめ、観光地ならではの多彩なサービスなど、地域内で仕事や生活をする人の割合が千葉県内で一番多いとか。「自分の夢をかかなえる」人たちがたくさんいて、自分が憧れる“ちょうどいい”暮らしが手に入りそう！

〈健康・医療〉

鴨川市にある日本最大級の私立総合病院「亀田総合病院」をはじめ、「亀田クリニック」、「安房地域医療センター」などが開業。「亀田総合病院」は、災害拠点病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院にもなっています。



香取・東総地域

〈住環境・仕事〉

自然景観や歴史・文化を生かした取り組みが行われる地域。四季を感じながら暮らしたいご味を感じられます。香取市では千葉県の自治体で初めて太陽光発電事業を開始するなど、香取・東総地域は自然資源を生かした太陽光発電や風力発電事業を展開。また、地域特産品のブランド化をはじめとする一歩進んだ農水産業、地域資源を生かした観光業のほか、成田市・茨城県の企業への通勤も可能です。

〈健康・医療〉

地域の基幹病院は、「国保旭中央病院(救命救急センター)」や「県立佐原病院(香取市)」です。市民病院をはじめとする医療機関は身近に。「銚子市立病院」は2015年から銚子市医療公社による運営で市民医療を支えています。



圏央道地域

〈住環境・仕事〉

圏央道の開通でネットワークが広がり、これからの変化に期待！なこの地域。東京湾臨海部は日本を代表する工業地帯。都心から1時間以内で位置する「かずさアカデミアパーク」は「かずさDNA研究所」「独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター」など、最先端科学の研究施設があり、内陸部には工業団地も。農業、漁業、多彩な観光産業のほか豊かな農作物を利用して、レストランやカフェを営む人も目立ちます。

〈健康・医療〉

広域的な救急医療体制の拡充が進み、圏央道の開通で、救命救急センターや専門性の高い病院への所要時間が短縮。圏央道を搬送ルートとすることで、患者の負担軽減も期待されています。



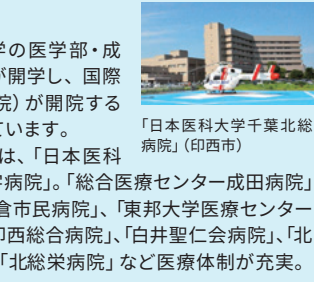
空港地域

〈住環境・仕事〉

成田空港周辺地域、千葉ニュータウンを中心に、鉄道や幹線道路の整備が進み、環境に配慮した都市づくりが行われている地域。成田空港を拠点として、国際的な人とモノが交流し、働く世代が多く集まり、活気に満ちています！都内、千葉へ通勤・通学も可能ですが、空港に関係した働き方も。観光業や、漁業、農業もさかんです。ニンジン、さつまいも、すいか、梨、落花生などの生産力強化が進められ、付加価値を付けたり、海外へ輸出なども。

〈健康・医療〉

成田市では国際医療福祉大学の医学部・成田看護学部・成田保健医療学部が開学し、国際医療福祉大学成田病院(附属病院)が開院するなど、地域医療の充実が図られています。  
この地域の救命救急センターは、「日本医科大学千葉北総病院」、「成田赤十字病院」、「総合医療センター成田病院」、「成田富里徳洲会病院」、「聖隷佐倉市民病院」、「東邦大学医療センター佐倉病院」、「新八街総合病院」、「印西総合病院」、「白井聖仁会病院」、「北総白井病院」、「千葉白井病院」、「北総栄病院」など医療体制が充実。



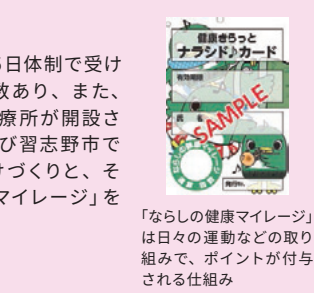
東葛・湾岸地域

〈住環境・仕事〉

産業拠点として、特色あるまちづくりが進められている。「柏・流山地域」は、つくばエクスプレス沿線でまちづくりが進行。「柏の葉キャンパス」駅周辺は、国土交通省スマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトに選定され、これからの発展が期待されます！大学や研究機関も多く立地し、企業活動も活発な地域は、仕事も幅広く選択できそう。

〈健康・医療〉

重症の救急患者を24時間365日体制で受け入れる救命救急センターが多数あり、また、多くの市において、夜間休日診療所が開設されています。市川市、松戸市及び習志野市では健康的な生活習慣のきっかけづくりと、その継続、定着を目指し、「健康マイレージ」をスタートさせています。



千葉県移住情報BOOK

# ちょうどいい千葉

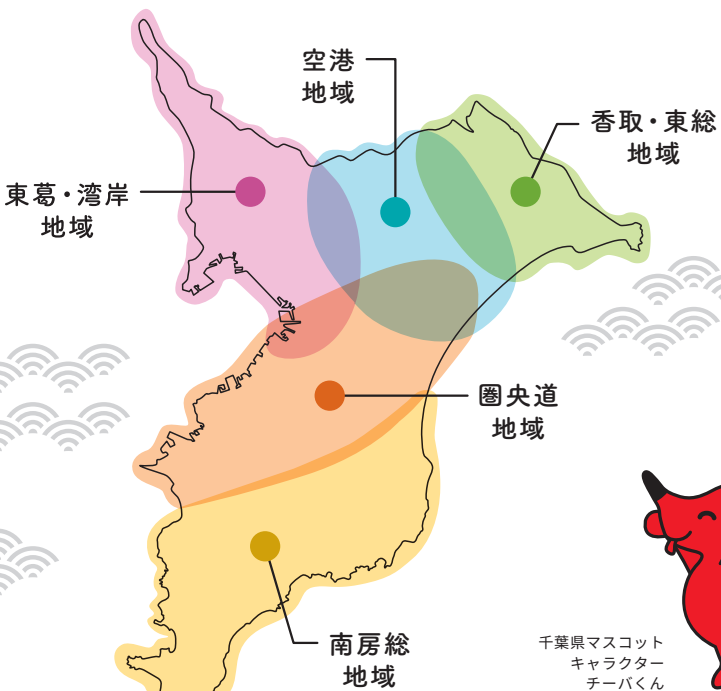
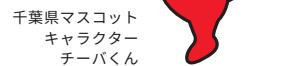
千葉県の移住関連情報は  
こちらから

あなたのいちばんの場所になりたい



# 千葉県の個性いろいろ 5つの地域

全部で54市町村あって、地域ごとに個性が際立つのが**ちば**なんです。そこで、5つの地域に分けて紹介。どんな地域なの？移住者のホンネは？新しい発見がいっぱいです。



## 南房総 地域

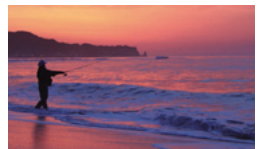


日本で唯一雨水だけで耕作を行っているという、県指定名産の「鴨川大山千枚田」（鴨川市）

## 美しい海岸・里山 癒しのリゾートもすぐそこ

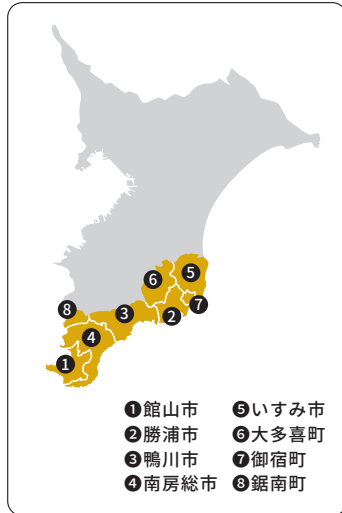
### 暮らしやすさの特長とヒミツ

南房総地域は8市町。温暖な気候、暮らしやすい自然環境に恵まれ、首都圏からの移住先として人気が高い地域です。美しい海岸線と里山が印象的！早春から花が楽しめるだけでなく温泉地として有名なものも見逃せません。農産物・水産物の直売所、高度先進医療を推進する医療機関もあって、日々の暮らしが楽しめる、心やすらぐ地域です。



サーフィンの釣りが楽しめる！

東京駅への高速バスアクセス  
館山駅から（アクアライン利用） 約2時間  
安房鴨川駅から（アクアライン利用） 約2時間10分



- 1 館山市
- 2 勝浦市
- 3 鴨川市
- 4 南房総市
- 5 いすみ市
- 6 大多喜町
- 7 御宿町
- 8 鋸南町

## 香取・東総 地域

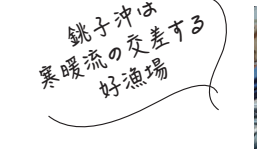


日本ジオパークに認定された「犬吠埼」（銚子市）。「犬吠埼灯台」は、「世界の歴史的灯台100選」に

## とれたての海の幸も大地の恵みもすぐそこ

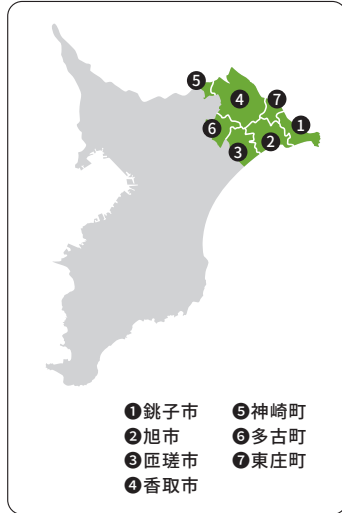
### 暮らしやすさの特長とヒミツ

ちばの“食料拠点”として、農業・畜産業・水産業が盛んな香取・東総地域は、7市町が含まれます。朝市や産直市場、道の駅などが充実し、新鮮食材が身近に手に入るから、毎日の食卓も豊かに！風光明媚な景観や、江戸の風情を今に感じるまち並みに、心豊かな暮らしがイメージできます。茨城県と隣接し、茨城県や成田市への通勤・通学も便利な地域です。



銚子沖の東暖流の交差する好漁場

東京駅への高速バスアクセス  
銚子駅から 約2時間35分  
佐原駅から 約1時間45分



- 1 銚子市
- 2 旭市
- 3 匝瑳市
- 4 香取市
- 5 神崎町
- 6 多古町
- 7 東庄町
- 8 香取市

# 仕事の場所は自分で選べる！ 千葉でテレワーク、二地域居住しませんか？

## 《千葉県内コワーキングスペース》

千葉県内には、テレワークができるコワーキングスペースも豊富にあります。ここでは主な施設を紹介。この機会にぜひ利用してみましょう。

### 南房総地域

- 館山市**
  - 南極スペース <https://space.aguije.jp/>
  - seadays (カフェ内) <https://seadays.jp/cafe/>
- 南房総市**
  - シラハマ校舎 (AWASELVES) <https://www.shirahama-shachu.com/awaselves/index.html>
  - HEGURIHUB (平群ハブ) <https://hegurihub.com/co-working/>
  - MISHO Station <https://mishostation.square.site/>
- いすみ市**
  - hinode <https://hinode-isumi.com/>
- 大多喜町**
  - 旧老川小学校 <https://localnippon.muji.com/place/3614>

### 香取・東総地域

- 銚子市**
  - We'll-Being 犬吠駅2Fコワーキングスペース <https://www.choshi-dentetsu.jp/railway/4423/>
- 旭市**
  - 多世代交流施設おひさまテラス <https://www.miraiasahi.jp/kouryuu.html>
- 香取市**
  - HOSTEL Co-EDO SAWARA <https://www.hostel-sawara.jp/>
- 多古町**
  - 多古町魅力発信交流館 (たこらぼ) <https://www.town.tako.chiba.jp/ijyu/news/2021060900053/>

### 圏央道地域

- 木更津市**
  - 金田地域交流センター <https://k-exchange.jp/>
- 市原市**
  - コワーキングスペース Co-Saten <https://co-saten.com/coworking-space>
- 富津市**
  - まるも <https://marumo.net/coworking/>
  - 金谷ステーション <http://kanayast.com>
- 袖ヶ浦市**
  - GAULAB (ガウラボ) <https://gaulab.jp>
- 一宮町**
  - SUZUMINE <https://suzumine.com/>

### 空港地域

- 成田市**
  - GAKUYA <https://narita.com/gakuya>
- 佐倉市**
  - 佐倉市スマートオフィスプレイス「CO-LABO SAKURA」(コラボサクラ) <https://co-labo.shiteikanri-sakura.jp/>
  - おもてなしラボ <http://omotenashilab.com/>
- 八街市**
  - Nuts Up? <https://blavobill.wixsite.com/nutsup>
- 印西市**
  - 牧の原テーブル <https://makinoharatable.com/>

### 東葛・湾岸地域

- 千葉市**
  - CHIBA-LABO (千葉市起業家支援施設) <https://www.chiba-labo.jp/>
- 船橋市**
  - なでしこサロン <http://www.nadeshiko-saron.com/>
  - Katana オフィス船橋 <https://www.katana.bz/office/funabashi/>
  - コワーキングスペーストキノマ <http://tokinoma.com/>
  - 創作ルーム LABORO <https://r.goope.jp/laboro>
  - CoWork船橋 <https://cowork-share.jp/funabashi/>
- 松戸市**
  - 松戸スタートアップオフィス <https://matsudo-startup.jp/>
- 習志野市**
  - プラッツ習志野 [https://narashino-future.jp/facility\\_list/future\\_center.html](https://narashino-future.jp/facility_list/future_center.html)
- 柏市**
  - KOIL (柏の葉オープンノベーションラボ) <https://www.koil.jp>
  - Noblesse Oblige <http://nbob.jp/>
- 流山市**
  - AZ CAFE [https://peraichi.com/landing\\_pages/view/azcafe/](https://peraichi.com/landing_pages/view/azcafe/)
  - U-SPACE 流山おおたかの森店 <https://www.u-space.com/rentalspace/nagareyama/info.html>
  - HIT 流山おおたかの森店 <https://www.hit-web.com/>
  - cocoti <https://cocoti.jp/coworking/index.html>
- 八千代市**
  - Bizcomfort (ビズコンフォート) <https://bizcomfort.jp/chibaken/yachiyo-midorigaoka.html>
- 鎌ヶ谷市**
  - コインスペース ショッピングプラザ鎌ヶ谷店 <https://coinspace.jp/shops/13>



手賀沼の豊かな自然が魅力的な我孫子市。独自の文化的な風土がいまなお息づいています。

テレワーク 実践者 杉山 佐保里 さん

「自然を求めていた」という杉山佐保里さんが転居先に選んだのは我孫子市。手賀沼の豊かな自然が暮らしに潤いと彩りを添えています。仕事ではオンライン化を推進。新たな展開に取り組んでいます。

## 自然を求めていたことに気づいたら 我孫子市を選んでいました

実はハワイに移住する予定だったんです。親戚もいたし、何よりまあのおおらかな自然と開放的な雰囲気大好き。夫と娘と家族で引っ越してしまおうと。私の仕事は管理栄養士。2018年には自分の会社を立ち上げて、企業の社員食堂のメニュー改善の相談に乗ったり、食育関連の講座を開催したりしていました。ところが2020年にはコロナ禍に見舞われたために、海外への移住計画は白紙に。あらためてこの先どうしよう、と考えたときに、もともと自然に囲まれた場所で暮らしたいと思っていたのでそれを軸に移住先を検討しました。

## セミナーはオンラインで開催 どこにいても多くの人に発信できます

夫は都心勤務なので、通勤も考えて我孫子市に。賃貸の戸建て住宅を見つけて引っ越しました。また、それまで主催していた食育に関するセミナーや体質改善

の講座などは対面での実施が難しくなったので、ハワイ移住のために進めていたオンライン化をさらに進めることに。緊急事態宣言が解除されてからは、セミナーや講座は対面とオンラインとを織り交ぜて実施しています。SNSのグループチャットを利用して100人以上の参加者にレッスンしたり、オンライン会議アプリで個別に食事の指導をしたり。デジタルツールの特性を見極めながら、使い分けています。

オンラインも取り込んだ試食会を行った際には、2会場をオンラインでつないで、4日間で会場では延べ30人、オンラインでは延べ50人の参加がありました。この方法なら対面の場合より多くの方に参加いただけますし、私がどこにいても開催できます。

一方、実生活ではご近所でお友達もできました。一緒にパン教室を開いて地元の活性化にも貢献できたら、と思っています。

ここに住んでみて実感したのは手賀沼の自然の素晴らしさ。私がいちばん気に入っているのは、手賀大橋から見る夕日。家族で湖畔に立って、暮れていく夕日をじっと眺めている時間がとても好きです。

コロナによりオンライン化がすすみ、都心部に暮らさなくても自然な環境の中で好きな仕事ができ、心から充実した日々を送ることができています。

## 房総半島の中央部にある大多喜町は歴史ある城下町。都心とは高速バスでつながり便利で自然豊かな地域です。

二地域居住 実践者 小松 祥吾 さん

小松祥吾さんは空き家バンクを利用して大多喜町の古家を購入。週末、都内の自宅から通って家の手入れをしながら、もうひとつのふるさとを満喫。都内から行き来する二地域居住を楽しんでいます。

## 自転車で回れる範囲で生活できる 第一印象は「住みやすそうだな」

私は生まれも育ちも都内の葛飾区。どこに行くにも便利な地に慣れたせいか、通勤のために時間を費やすのが苦痛でなりません。幸い、現在は、製造メーカーの営業職として勤務していますが、海外との取り引きが中心で、商談はほぼテレワーク。基本的に自宅勤務しています。子どもが生まれてからは徐々に今のマンションが手狭に感じるようになりました。もともと地方への移住を考えていたこともあり、さっそく、一般社団法人 移住・交流推進機構の「空き家バンク」のサイトで物件情報をチェックしてみました。秩父や静岡もいいなと思ったのですが、会社に出勤するときのことを考えて、千葉県内で絞り込むことに。

そうしたら、価格が手ごろな古家が大多喜町にあったんです。ここは東京駅から高速バスで80分ほどで行ける。しかも、内房にも外房にも出やすいし、山も湖も身近にある。大多喜町は自転車で回れる範囲で商業施設や学校、病院などが一通りまとまっています。下見に行ったとき、「あ、住みやすそうだな」と感じました。

## 大多喜町への移住は 新たな可能性を導いてくれそう

購入した古家は築47年。空き家バンクを通じて購入した家のリフォームを地元の大多喜町内の業者に頼むと補助金が出るので、水回りや内装の改装をお願いしました。いまは平日は東京で過ごし、週末に時間を作って、家族で通っています。いきなり移住するより、二地域居住を通して、大多喜町の暮らしに少し慣れておきたかったからです。年末には本格的に引っ越そうかと考えています。

大多喜町の家での暮らしは、朝7時、いつものようにパソコンを立ち上げてテレワーク。夕方、きりがついたら、すぐにプライベートな時間。家を片付けたり、軽く庭仕事をしたり。完全に引っ越したら、海に出てビーチで趣味のヨガをやるのもいいし、サーフィンもやってみたい。広い庭でテントサウナを満喫するのもいい。やりたいことがいっぱいあります。

いま私たち夫婦はともに31歳。若くて体力のあるうちに、人生のいろんな選択肢を試したい。大多喜町への移住は、私たち家族の新たな可能性を開いてくれるのではないかと、ワクワクしています。